

今回の特集にあたって

あれからもう4年が経ちました。しかし、東日本大震災が私たちに与えた影響は計り知れないものがあります。日本赤十字社にとっては、おそらく戦後最大の救護活動になったと思いますが、4年前の救護活動で終わりではありません。震災の教訓を生かし、日本赤十字社は将来起こるであろう巨大災害に備えて、様々な取り組みを行なっています。

4回目になる今回の特集は、「東日本大震災の経験と、今後の災害への取り組み」をテーマにしました。大震災での救護活動をもう一度振り返るとともに、その経験から現在どのような取り組みを日本赤十字社が行なっているか、そしてどのような展望をもって今後の救護活動を展開しようとしているのかについて、最前線で救護活動に従事された6名の関係者に執筆をお願いしました。論文の掲載順序は、したがって、大震災での救護活動、日本赤十字社の現在の取り組み、そして将来の展望、になっています。

今回の特集が、災害の被災者の苦痛を和らげるのに少しでも貢献できれば幸いです。